

3 ICT利活用先進事例を北陸地域に導入する場合の効果、技術的課題及びモデル性等の分析・評価

(1) 地域社会を取り囲む情報化の変遷

ア 従来のシステムとICT利活用先進事例の比較

先進事例を調査していると、昨今の先進的な情報システムは従来の情報システムと比較し、大きく変わりつつあることが確認できる。先進事例では従来のシステムと違い、情報を処理し「届ける」ためのシステムではなく、情報を連結し「利活用し合う」ためのシステムというように変遷している。

イ 従来の問題点と現状

従来は互いのデータを繋げ利活用することを模索しても、そのためには多大な予算が必要であり、実現は困難であった。しかし、現在では全国均衡あるブロードバンド基盤の整備によって、地域社会においても都心部と同等の情報受発信の仕組が可能となった。その結果、互いのデータを交換し利活用するためのコストは低廉化され、大企業から一個人まで、「自在」にそして「平等」にデータを「連結」させ送受信することが可能な社会となった。

ウ ICT技術が地域にもたらすもの

ICT技術の進展は、大企業と個人、大都市部と地域社会などの関わり合い方にも変化をもたらしている。ICT技術は地域社会においても大きな可能性をもたらす反面、地域におけるコンテンツ作成に関わる技術者不足なども指摘されている。

しかし、インターネットによる地域コミュニティへの参加意識は高く（「積極的に参加したい/内容によっては参加したい」の合計が47.8% 原典：「平成17年度版情報通信白書」）、地域コミュニティが求めるニーズを拾い上げ、ICT利活用に繋げていく必要がある。